

読売 俳壇

高野ムツ才選

墓仕舞いせし人も来て盆踊

つくば市 小林 浦波

【評】墓仕舞いの理由は多々あるが、ここでは遠方に住むこととなり、墓守りが難しくなったためだろう。高年齢のせいもある。盆踊りの後姿が心境を物語る。作者の旧知の人か。

携帯電話会社乗換夏の果

東京都 森 一平

【評】料金節約それとも端末割引、何か理由がありそうだ。キャンペーンに乗り過ぎた気もしている。こんな携帯電話の句、初めて見た。コンクリを食べる万の歯蝸牛

町田市 枝沢 聖文

【評】蝸牛は歯舌という歯で、コンクリートのカルシウムを削り取るのだそうだ。世界で一番歯が多い動物が蝸牛。これも初めて知った。尺蠖の尺とり損ね立ちあがる

神奈川県 石原美枝子

獲物曳く長き歓喜の蟻の列

横浜市 菅沼 葉二

炎天に美輪明宏のよいとまけ

神戸市 岸下 庄二

峯雲を屈指し歩きし日もありし

埼玉県 小町 季生

二階より足音と来る団扇かな

市川市 をがはまなぶ

試合終了のサイレン夏の雲

茨城県 星野 芳美

今日もある命大事や冷奴

横浜市 瀬古 修治

正木ゆう子選

魔道を統べる山百合襲ひ来る

東京都 奥村 和子

【評】人が使わなくなった道を山百合が占領し、侵入する人間に立ち向かってくる。大輪の白花、捲れる花弁、雄蕊の赤褐色の葯を揺らして。生命力が目に見えるような真夏の句。

迎火や猫も一緒に会ひに来よ

東京都 中島 徒雁

【評】家族もペットも、自分を置いて先に逝ってしまった。なんでもない日常があったあの頃のように、帰っておいで。読んで、涙が出そう。踊らねば向うへ行けぬ踊の輪

名古屋市 可知 豊親

【評】櫓の反対側に行きたいが、観客が多いのか、輪に入って踊らねば行かない。盆踊りあるあるでもあるが、社会の比喻としても読めそう。蛾ひとつの張り付いてある灯の暗さ

東京都 望月 清彦

草を刈るただそれだけの庭となり

佐野市 桑原 博

大差なく共に老いたり鱧の皮

神戸市 吉野 勝子

天牛の花粉浴びつゝ食みており

東京都 松永 京子

サマーヤーン膝に引き寄せ昼の雨

武蔵野市 大谷由美子

どこことなく晩夏が似合ふ九段下

さいたま市 岡村 行雄

強敵が突如現わる草刈機

朝霞市 田口 純